

(別紙4(2))

事業所名 グループホームなごみ

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 9 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	35	水害・土砂災害を含めた災害非常時の計画策定の必要があり、又、避難訓練の実施の必要もある。	水害・土砂災害を含む災害非常時の計画の策定が出来、避難訓練の実施が出来る。	1.緊急連絡網の整備(連絡網が機能するかシュミレーションを行う。 2.非常災害時の計画の策定(特に留意すべき事項、変更など踏まえて) 3.避難訓練の実施が出来る様に計画を立てる。	3～12ヶ月
2	12	利用者様の重度化に伴い、終末期においての全職員の利用者に対する介護支援の統一が必要である。	不安なく、看取りケアが実施できるように。	1.職員の看取り体制について話し合う。(フォローする体制を整える。) 2.家族への支援(最期は何処で迎えたいか、予測されない事態への対応とし、十分な説明を行い、関係機関と連携して、家族・本人への継続支援) 3.緊急連絡先の再確認を行う。 4.施設内での看取り介護についての勉強会を行い、知識・技術の向上に努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。